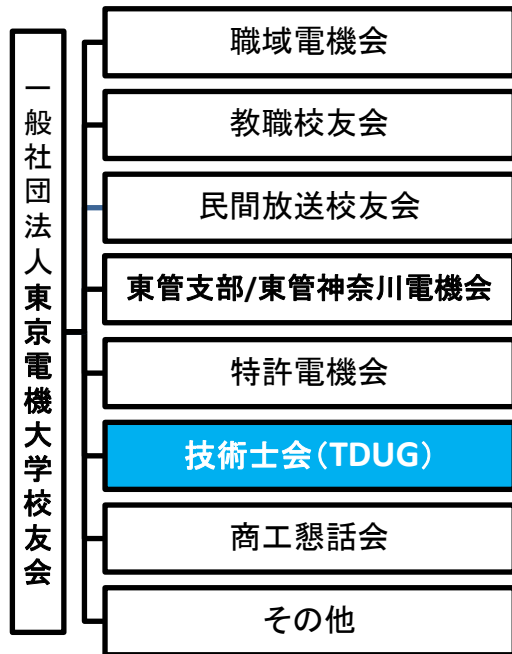


(校友会公認団体)



- * 1. TDUGは校友会の公認団体です。
- * 2. 校友で技術士の方、是非ともTDUGに入会ください。

■編集後記

光陰、矢の如し。TDUG設立後、早くも1年が経過しました。会としては徐々に基盤が固まりつつあります。皆様との有力なコミュニケーション手段としての会報は、創刊号の発行は会長の力に負うところが大きく、本号が広報委員会としての実質的な第一号となります。取組んでみると様々な制約があり、思うに任せませんでした。不本意な部分は、今後回を重ねる中で改善していく所存です。(E記)

お知らせ

- 技術士サロン
隔月で役員会と同時開催しています。どなたでも参加可能です。開放的な雰囲気の中で様々な情報交換や交流がはかられています。一度、のぞいてみてください。
(開催予定は「TDUG設立後のあゆみ」に記載)
- 雷害対策研究会
3名のメンバーで研究会が発足しました。具体的活動に入りますが、引き続き興味ある方の参加を歓迎します。

募集

- 会員の広場への寄稿
会報は会員の相互交流の場でもあります。皆様の技術士活動の情報、協力者の募集、相談事などを600字程度で寄稿ください。「会員の広場」に掲載させていただきます。(会報第3号の締切:平成26年6月末)
連絡先: eiji_okudajp@yahoo.co.jp
- 賛助会員
TDUGでは当会の目的に賛同いただき、ご支援いただける個人・団体を求めています。参加いただいた場合は「賛助会員」として、その名を会員名簿ならびに会報に掲載させていただきます。
連絡先: tdugsa@yahoo.co.jp

編集・発行 東京電機大学技術士会 広報委員会
(奥田榮司、荒木佳昭、鈴木将成、西村哲夫)
東京都足立区千住旭町5
一般社団法人東京電機大学校友会内
TEL:03-5284-5140 FAX:03-5284-5187

■賛助会員

TDUGをご支援いただき、有難うございます。
(株)加藤電気工業所 大館技術士事務所
東洋電機(株) MCKエンジニアリング
アストロデザイン(株) 技術士事務所“ロボティ”
SGC澤栗技術士事務所 千葉技術士事務所

TDUG
東京電機大学技術士会 会報

【目次】

- 1. 巻頭言
- 2. 委員長 ご挨拶
- 3. TDUG設立後のあゆみ
- 4. トピックス
- 5. 校友会と技術士会
- 6. お知らせと募集

TEL:03-5284-5140
FAX:03-5284-5187
E-mail: tdugsa@yahoo.co.jp

巻頭言

技術士会の発展に期待

一般社団法人 東京電機大学校友会理事長
渡辺 貞綱



日本全国で技術士の資格をお持ちの方は約78,000人いらっしゃるようですが、その内東京電機大学を卒業された資格者が現在340名を超えると伺い、大変に素晴らしいことと思ひ、私たち校友会は東京電機大学技術士会の設立に大いに賛同し、応援させて頂きました。昨年(平成25年)3月に東京電機大学技術士会が発足し、創成期としてのほぼ1年が経ちました。この間の活動においては澤栗会長をはじめ関係各位の並々ならぬご努力、ご活躍があったものと拝察し、心から敬意を表したいと思います。

あのリーマンショックから約5年が経ちましたが、その間に先進国の産業力をつけた13億人以上の人口を有する中国ではGDPで日本を追い抜き、世界2位になるなどの躍進がありましたが、日本経済の伸張は捗々しくない状況が続きました。昨今は安倍政権の経済政策「アベノミクス」の起動により、円安や株高の恩恵が広く産業界にも浸透しつつあり、企業の業績回復感をもたらしていることは明るい傾向と思ひます。しかしこの景気回復が公共投資や消費税増税の駆け込み需要に偏って景気を底上げしているようにも感じられ、雇用や所得の増加による消費の拡大といった本格的な景気の好循環が回りだすには、なお時間がかかるのではないかと思われます。

翻ってみますと日本は戦後60年、資源産出などの恩恵の無い国として、その勤勉さと弛まぬ科学技術開発の継続的努力や成功実績によって世界で有数の経済大国になったことは事実であります。

現代経済の推進役ともなっております科学技術は18世紀後半のイギリス産業革命以来、国力増強、経済力強化のために取り込むべき課題を決め、それを如何に効率よく、しかも小型で処理能力の高いモノを実現できるかと言った技術思考の下に開発し、目的を達成してきたと思ひます。特に日本においては、この技術思考に基づき各企業はモノ作りのために多くの技術研究費を投入し、これまで培ってきた優秀な科学技術、人材、組織を十分に発揮することでハイテク産業や情報通信システム産業に代表されるような技術の進化と製品の提供、普及に努めてまいりました。

現代のあらゆる産業において特に電気は、人々の暮らしを支える社会の根幹のエネルギーであることは言うまでもありませんが、今の日本は東日本大震災以降、エネルギーと環境問題の課題を抱えており、これからの科学技術開発は今までの技術思考から、モノの見方や価値観を抜本的に変革するパラダイムシフトを急ぐ必要があると言われております。

今後の社会のニーズに応える科学技術の開発においては、必要性や製造方法から廃棄処分方法までも考慮し、地域環境や地球環境に調和した先進的な技術志向により、従来の開発手法から変革した新たな手法を選択して行くことが望まれます。東京電機大学技術士会の皆様は様々な分野で卓越した専門技術者であるとともに幅広い見識をお持ちの方々であり、科学技術の将来の展望については深謀遠慮されていることと思ひます。

日本の技術者は元々独創的な技術開発が得意であり、日本が将来に向けて環境に優しい科学技術力を産業界の中で積極的に開発し、発信して行くこともひとつの重要な方向性ではないでしょうか。

東京電機大学は「実学尊重」「技術は人なり」の教育方針の下、現在も若い技術者を大勢世のなかに輩出しております。東京電機大学技術士会の皆様、校友会も支援させていただきますが、電大卒業生、特に若い卒業生に技術士となることの喜び、矜持あるいは社会における優位性をお示し頂き、卒業生の有資格者の増加に努めて頂ければ幸いです。

東京電機大学技術士会の会員の皆様が相互の親睦を深め、技術研鑽を高め、東京電機大学の発展を支援されるとともに次の時代の科学技術のあるべき姿、日本の50年後、100年後を見据えた姿について積極的に議論され、社会に発信し、貢献されることを期待して止みません。

東京電機大学技術士会は一般社団法人東京電機大学校友会の公認団体で同会の支援を受けて活動しています。[4ページ参照]

委員長 ご挨拶

昨年の東京電機大学技術士会(TDUG)設立総会にて副会長を拝命、活動組織の委員長として会長とともに中身に邁進、少しずつ基盤ができています。それぞれの立場で今後の活動について述べさせていただきます。

総務委員長:副会長 高見澤計夫(S47卒・E科)

総務委員会は、高見澤計夫(S47卒・E科)、石井新一(S55卒・E科)、根本昌徳(H3卒・E科)の3名で構成、役員会議事録の作成や各種会計処理など事務局的な面を担当しています。

設立後、会としての主な活動は会報の創刊号を発行と大学技術士会連絡協議会への加盟などがあります。

少数役員ボランティア的な働きのため、マンパワーが不足で、なかなか活発な活動ができません。有志の会員を募り、委員会活動を強化したいと考えております。是非参加してください。

技術士会活動を継続していくうえで重要なこととして、①会員の皆様に提供できるメリット、②会員同士の情報交換の方法、③会員相互の親睦を図るための開催イベント、④継続可能なイベントの創出法、⑤会員増による

事業委員長:副会長 大館昌男(S39卒・E科)

設立総会で事業委員長を拝命し1年を迎えます。当会会員の部門別構成は表の通りです。その他部門は、化学、機械、金属、衛生工学、上下水道、経営工学、環境などです。重複になりますが、総合技術監理も12名います。

事業委員会では多分野に亘る会員相互の交流と情報交換、技術研修見学会、学園への協力と在学生の技術士取得支援、地域社会への貢献、グループ別研究チーム組織化による技術研鑽等を計画しています。チームは、D:電気設備、E:教育指導、L:ロジスティクス、Q:雷害対策、R:ロボット技術の5部門を計画中です。本年度事業活動の中核と成れるグループ別研究チームへの皆様の参加をお待ちしております。

TDUGは、学園・大学との連携窓口である産官学交流センターのご協力をいただき定時の連絡会議(MTG)を持って在学生の支援にあたってゆきます。昨年は、産官学交流センター開催の「知財セミナー」に、「技術士とは、技術士のメリット・技術士資格取得」のテーマで

広報委員長:副会長 奥田榮司(S47卒・D科)

広報委員会は、現在、幹事(鈴木将成:S37卒・E科、荒木佳昭:S48卒・E科、西村哲夫:S58卒・E科)を含む4名で構成しています。

その使命は組織内外の交流・PR活動を通じてTDUGのステータスを高め、会員増を図ることにあります。そのため会報の発行が当面の最重要課題と考えてきました。会報にはTDUG内外のコミュニケーションと会の歴史記録という意味があります。そのためこれを継続させ、定着させることが重要です。第2号を発行することにより、その基礎ができたと考えています。

引続き、広報機能を強化するため、総務委員会、事業委員会と事業委員会と連携し、次のようなことをしていく予定です。①会報発行の継続、② TDUG紹介のパンフレット作成、③ 他技術士会との交流、④ ホームページの作成など。その他、良いアイデアがあれば、それも順

活動の盛り上げ、などが考えられます。

一方、会員の皆様にとってのメリットは何でしょうか。営業情報、技術情報交換、当面の課題解決、学園との交流、会員の懇親・親睦、技術士部門を活かした趣味の探求、理工系への興味喚起のための、子供向けの簡単な実験会の開催などでしょうか？

TDUGの会員として、技術士の本分を踏襲しながら遊び心を内包した継続可能な活動計画の提案をお待ちしています。それらを踏まえて効果的な活動を実現していきたいと考えています。

講演を行い、好評頂きました。このようなものを継続したいと考えています。

地域社会への貢献としては公開講演会の開催を計画しています。卒業生の活躍する各企業内技術士会とも交流を図りたく、これには校友会の下部組織である職域電機会の協力をいただいで活動するのが効果的と考えます。技術士資格の受験指導やニーズに沿った技術支援などを検討中です。

これらの活動を行うには、会員各位の参画とご協力とをいただかねばなりません。大学技術士会連絡協議会に所属の19大学技術士会と肩を並べられるような事業活動を目標に取り組みます。皆様方のさらなるご支援をいただけますようお願いいたします。

次取入れて、会員サービスに努めていきたいと思っております。ご期待ください。

技術士という資格は重たく、有力な資格であることは疑いありません。しかし、資格を取っただけでは、技術士であるということだけでしかありません。この資格を活かし、仲間と協力し、興味を持って、技術士としての色々な活動をするることにより、ネットワークが広がり、社会貢献でき、思わぬメリットも享受することができます。これは皆さんご承知のことと思います。

皆さんにも当会の活動に参加していただき、ともにTDUGの発展に寄与していただきたく、お待ちしております。



No.	技術部門	人員(名)
1	電気電子	53(57%)
2	建設	13(14%)
3	情報通信	10(11%)
4	その他	17(18%)

会員構成



TDUG設立後のあゆみ

平成25年	3月30日	設立総会挙行	平成26年	3月 1日	会報「第2号」発行
	4月18日	第1回役員会開催		29日	第2回総会開催(予定) (以下予定)
	6月19日	技術士サロン・第2回役員会開催		4月16日	技術士サロン・第7回役員会開催
	8月21日	技術士サロン・第3回役員会開催		6月18日	技術士サロン・第8回役員会開催
	8月24日	大学技術士会連絡協議会加盟		8月20日	技術士サロン・第9回役員会開催
	9月10日	会報「創刊号」発行		9月 1日	会報「第3号」発行
	10月 2日	TDU「知財セミナー」講師派遣		10月15日	技術士サロン・第10回役員会開催
	16日	技術士サロン・第4回役員会開催		11月	大学技術士会連絡協議会
	11月11日	大学技術士会連絡協議会総会出席		12月17日	技術士サロン・第11回役員会開催
	12月18日	技術士サロン・第5回役員会開催	平成27年	2月18日	技術士サロン・第12回役員会開催
平成26年	1月25日	職域電機会会長会出席		3月 1日	会報「第4号」発行
	2月19日	技術士サロン・第6回役員会開催		(日時後報)	第3回総会開催

トピックス

知的財産セミナーに講師派遣

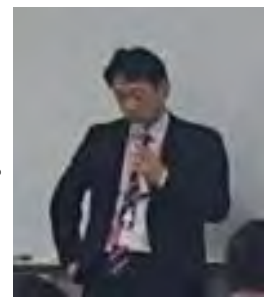
10月2日 東京電機大学 産学交流センター主催の「知的財産セミナー」に参加、当会幹事の佐藤達則氏が「技術士とは・技術士の役割」と題して講演しました。当日は学生、院生の約80名が聴講しました。佐藤氏は、会社勤務中に資格取得された企業内技術士で、自らの体験を海外仕事の経験も含めて「技術士とは何か」、「資格取得のメリットは何か」等について、具体的に説明されました。現役で活躍中の技術士の話であることから説得性が高く、参加者の技術者としての夢を喚起すると

大学技術士会連絡協議会総会に出席

11月11日 大学技術士会連絡協議会(大技連)第6会総会が、日本技術士会 会議室で開催されました。当会は8月に入会、20番目の会員として大館副会長、ほか2名が出席しました。同じく今年度の新メンバーで19番目の会員 京都大学技術士会に続き、大館副会長が当会を代表して挨拶、TDUGの設立経緯や、有資格者386名と設立時員93名の部門別構成、活動目的などを説明しました。今後、仲間として連携していきます。

総会後の懇親会では大いに交流を深めることができました。また先行する他の技術士会の活動状況など、生の話を聞くことができ、参考になることが多々ありました。得

ともに、キャリア見える化の重要性を認識していただくことができ、参加者のみならず、主催の大学からも好評を得ることができました。TDUGとしては初めての講師派遣でした。今後もこのような機会を増やし、会員の方々に活躍していただきたいと考えます。



られた情報は今後の私たちの活動に活かしていきたいと思っております。

【大技連の活動】

- ① 資質の向上・技術士倫理の徹底を図り、自己研鑽並びにCPD(Continuing Professional Development)、IPD(Initial Professional Development)に関する情報交換・意見交換を行う。
- ② 大学と協力し、産学連携を図り、構築したネットワークを活用しながら、学生・院生・学員の自己実現に向けた支援を行う。

1	東京工業大学
2	日本大学
3	早稲田大学
4	東京都市大学
5	東京理科大学
6	中央大学
7	千葉工業大学
8	工学院大学
9	東北大学
10	大阪工業大学
11	摂南大学
12	名城大学
13	芝浦工業大学
14	慶應義塾大学
15	室蘭工業大学
16	九州工業大学
17	名古屋工業大学
18	大阪大学
19	京都大学
20	東京電機大学

大技連参加大学

美しき、可能性

超高精細・高臨場映像が拓く未来があります。最上級のクオリティを利用シーンに適した先進のシステムでご提供します。

9.6インチ

DM-3409

32インチ

DM-3432

60インチ

DM-3412

4K

4Kモニターシリーズ

DM-3409/DM-3432/DM-3412

DM-3409 (9.6インチ)	DM-3432 (32インチ)	DM-3412 (60インチ)
入力端子 DVI-I入力及び3G/10G-SDI入力に対応 マルチカラーベース対応(Y/Pr/Pb, RGB, XYZ) デュアルDVI-I向上回路搭載で液晶パネルの輝度ムラを低減	3840×2160(高解像領域) HD-SDI×4系統 3G-SDI×4系統 Single Link DVI-D×4系統 DisplayPort/HDMI×1入力(4K 20pまで)	3840×2160(高解像領域) HD-SDI×4系統 3G-SDI×4系統 Single Link DVI-D×2系統 DisplayPort/HDMI×1入力(4K 20pまで)
映像再生周波数 48～60Hz	48～60Hz	48～60Hz
消費電力 60W MAX 外形寸法(約)幅×高さ×奥行 316×199×80mm	200W MAX 736×507×130mm 約3.1kg	390W MAX 1,480×800×160mm 約9kg

DM-3409 (9.6インチ)	DM-3432 (32インチ)	DM-3412 (60インチ)
特徴 DVI-I入力及び3G/10G-SDI入力に対応 マルチカラーベース対応(Y/Pr/Pb, RGB, XYZ) デュアルDVI-I向上回路搭載で液晶パネルの輝度ムラを低減	特徴 3840×2160(高解像領域) HD-SDI×4系統 3G-SDI×4系統 Single Link DVI-D×4系統 DisplayPort/HDMI×1入力(4K 20pまで)	特徴 3840×2160(高解像領域) HD-SDI×4系統 3G-SDI×4系統 Single Link DVI-D×2系統 DisplayPort/HDMI×1入力(4K 20pまで)
仕様 消費電力 60W MAX 外形寸法(約)幅×高さ×奥行 316×199×80mm	仕様 消費電力 200W MAX 736×507×130mm 約3.1kg	仕様 消費電力 390W MAX 1,480×800×160mm 約9kg

第一営業部
〒145-0066 東京都大田区南雪谷1-5-2
TEL.03-5734-6301 FAX.03-5734-6102

大阪営業所
〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島1-18-27-1010
TEL.06-6328-8558 FAX.06-6328-5058

メルマガ始めました [登録はこちら](#)

<http://www.astrodesign.co.jp/japanese/astro/milimg/index.html>